

令和4年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市立近代先人顕彰館
所在地	下関市田中町5番7号
指定管理者	団体名称 公益財団法人 下関市文化振興財団
	代表者 理事長 佐伯 和也
	団体所在地 下関市竹崎町四丁目5番1号
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	観光スポーツ文化部文化振興課
	TEL : 083 - 231 - 4691
	E-mail : ksunkas@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：施設の利用者数 (単位：人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	11,000	11,000	—	—	—
実績値	6,389	—	—	—	—
差	△ 4,611	—	—	—	—

令和4年度は目標値に達しませんでした。新型コロナウイルス感染症感染対策の緩和により利用者数の増加がみられました。令和5年度以降も引き続き指定管理者として、各年度での目標を確実に達成することが指定期間中の確実な達成につながるものと考えますので、令和5年度も利用者にとってより魅力ある展示やイベントの実行、利用者アンケート結果の実現などによる業務改善を積極的に推進し、提供するサービスの質を向上させることにより、利用者の獲得に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、下関市にゆかりのある先人の功績を顕彰することにより、市民の歴史や文化に対する理解を深め、市民の文化の向上に資することです。管理運営業務の実施状況については、田中絹代をはじめとする下関とゆかりの深い先人たちに関する展示やイベントを行い、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。また、市の指定文化財である建物の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われており、総合的に判断して良好と評価します。

業務内容についても、条例規則を遵守しながら、コロナ禍の中でも利用者や近隣の施設等とも協働してイベントを行い、来場者と地元をつなぐイベントの工夫がみられるなど、様々な努力が確認できました。今後も指定管理者の特色を活かしながら、さらなる企画運営の充実を図ることを期待しています。

経費については、予算の範囲内で適切に支出していました。厳しい社会情勢の中、文化の情報発信、また交流の場所としての役割を果たしつつ、今後も利用者の安心、安全を第一に、さらなる努力や工夫を期待します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

本年度以降も、本施設の設置目的を達成するため、業務のさらなる向上充実を図り、利用者が安心して利用できるような環境づくりを求めます。ソフト面では、安全面の向上（防災体制の強化）を求めます。また、地域に根ざした施設として、季節イベントの開催などの企画・実施により年間を通じて利用者の増加に努めるよう求めます。ハード面では、利用者からの大きなクレームもないことから、指定管理者の努力により良好な水準を維持していると判断します。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の安全・維持管理等、施設の設置目的に沿った実施方針に基づき適切に運営されていました。施設運営や利用者への対応については、地域住民が公平・平等に利用できるよう努力されていました。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取り組み方)

事業計画に基づいた企画展示等の業務が適切に実施されていました。施設利用の許可等について苦情・問題は特になかった状況でした。例年開催して利用者が定着してきている恒例のイベントだけでなく、ミニコンサートのイベントを行うなど話題性のある企画を実施することで利用促進に努めていました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努め、関係条例、規則等を遵守して適切に管理されていました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

使用料などの収入、施設管理費等の支出について適正に処理されています。領収書や経理関係書類の整理保管、施設使用許可申請書等に関する書類の整理保管についても適切に整理されていました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施されており施設の不具合等は適宜市へ報告が行われています。また、防災時等のマニュアルを整備し管理運営に対する取り組みも行っていました。

コロナ対応として、入口に消毒液を設置、また館内全体には間隔を空けて空気清浄機を配置、2階田中絹代記念館にはサーマルカメラを設置し来館者が触れる場所に光触媒コーティングを施すなど感染拡大防止に努めていました。

社会性(環境等への配慮)

不要箇所の照明の消灯等、冷暖房温度の省エネ設定の徹底等について実施されていました。

事業収支

経済性

事業収支について、当初計画の範囲内において適正に執行していました。

団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者から提出された財務諸表等を分析した結果、特に大きな問題はないため、経営状況は健全と判断しましたが、引き続き事業収入等の確保に努め、効率的な運営を行うことを求めます。